



議会だより

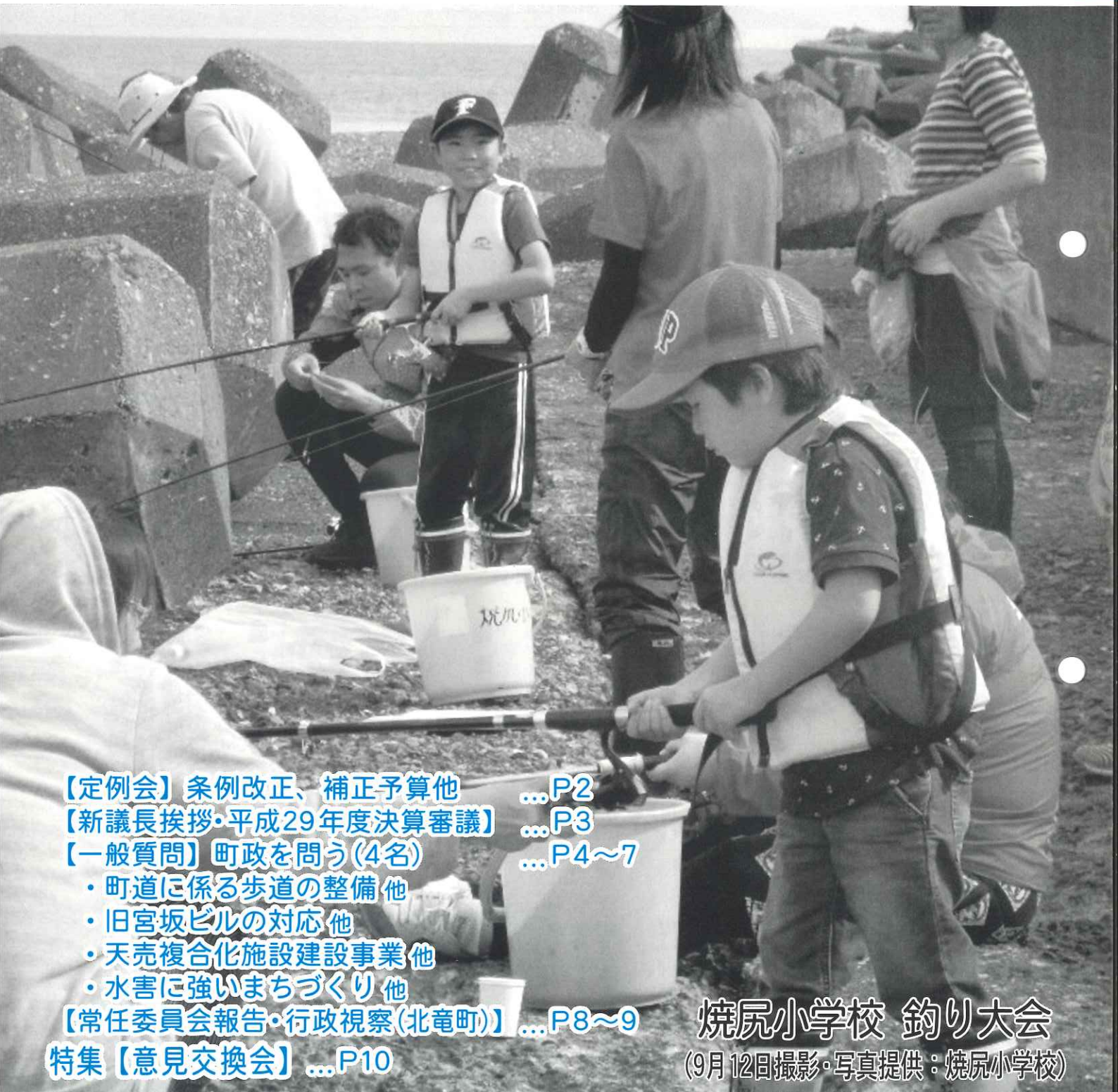
ピッツシリ

第108号

2018年

10月24日

発行



- 【定例会】 条例改正、補正予算他 ...P2
- 【新議長挨拶・平成29年度決算審議】 ...P3
- 【一般質問】 町政を問う(4名) ...P4~7
 - ・町道に係る歩道の整備 他
 - ・旧宮坂ビルの対応 他
 - ・天売複合化施設建設事業 他
 - ・水害に強いまちづくり 他
- 【常任委員会報告・行政視察(北竜町)】 ...P8~9

特集【意見交換会】 ...P10

焼尻小学校 釣り大会

(9月12日撮影・写真提供：焼尻小学校)

ぜひ議会の傍聴にお越しください

次回の定例会は **12** 月です

■発行：北海道羽幌町議会 ■編集：議会広報特別委員会
北海道苫前郡羽幌町南町1番地の1

議会事務局 TEL (0164) 68-7011 FAX (0164) 62-1278

第6回定例会

本議会は9月12日から14日までの3日間の会期で開かれました。今回は選挙1件、選任1件、報告1件、議案9件、同意1件、認定8件、発議3件、意見案1件が審議され、提案どおり可決されました。一般質問は4名(10件)で、町の行政に対して活発な議論を展開した。



現施設老朽化 スポーツ振興の普及・強化をめざして

「武道館」建替へ

平成31年度完成・総合体育館と連結(総事業費 3億1,272万円)

●職員の不適切な事務処理について、町長より内容報告

8月15日、町税等の収納事務における「郵便振替払込取扱票」が紛失したことが判明。紛失した取扱票の内訳は、固定資産税7件、国民健康保険税4件、道町民税3件、公営住宅使用料2件、まちづくり応援寄付金1件で合計17件。

この原因は、日常の書類管理意識の重要性と個人情報・税務情報が記載された書類という意識が希薄であり、町職員としての責任と自覚が不足していたもので、当事者並びに町民の皆様深くお詫び申し上げますと陳謝した。



■選挙■

●議長の議員辞職に伴い、新議長の選出選挙を行い、熊谷俊幸議員が当選。

■報告■

町監査委員により8月6日から17日まで、財政健全化審査を実施した。

一般会計、特別会計、公益企業会計の全てが黒字で、財政は健全である。

■認定■

平成29年度一般会計を含む8会計の決算審査を行うために、羽幌町各会計決算特別委員会(寺沢孝毅委員長)を設置。

全会一致で「認定」される。

■同意■

羽幌町教育委員会委員の任期満了に伴い、新たに松橋英輝氏を任命することに同意した。

■意見案■

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化について、国の各機関に求めることとした。(全員賛成)



【一般会計補正予算】

3237万円追加

【主な補正内容】

- 空き家対策補助金増額補正 753万円
- 当初予算では20件1000万円を見込んでいたが、8月末で27件の申請があり、今後の申請見込みを含めた補正。
- 遠隔医療促進事業費 269万円

- 遠隔医療体制(離島含む)整備検討のため、専門家等から助言等を受けるための補正。
- 武道館建設工事請負費 1000万円

- 2カ年度計画の今年度建設工事費分。次年度建設工事費は3億272万円。



【条例改正】

羽幌町国民健康保険条例の一部を改正する条例
中低所得層の保険税負担が増大しないよう課税限度額を引き上げる改正を行う。

議長就任にあたって



羽幌町議会議長

熊谷 俊幸

このたび、平成30年9月12日に羽幌町議会議長に就任いたしました。残り任期7カ月余りの期間でありますが、改めてその職責の重さに身の引き締まる思いであります。

まず、議会が町民の皆様にしつかりと役割を果たせるよう、開かれた議会、行動する議会、実行する議会をモットーに民主主義の本旨を主に中立、公正かつ円滑な議会運営にリリーフ役として全力投球いたします。今、地方創生の時代が進行する中、本町においても、地方版総合戦略のまち・ひと・しごと事業が議論され、地域に住む人を大切にするために、人口減少・高齢化社会への対応や、産業基盤の強化策、医療、教育、文化・スポーツの振興、住環境整備等、町民の目線に立った、町づくりを進め、安全、安心と生活向上のため議員間の議論を設け、その予算

化に誠心誠意取り組んでまいります。

次に、議会改革については、議員全員による議会・行政改革特別委員会を組織し、検討を重ね、本年4月から、これまで本会議のみであった町ホームページ上の公開を、新たに常任、特別委員会も追加し、一般質問の再質問時間の延長等も決定し実施されています。また、住民の皆様の声を反映すべく、これまで意見交換会を3回開催し、今後もボランティア団体との意見交換会や議員の報酬についても協議することとしており、さらに進めてまいります。

さて、本町には医療、防災問題を始め、課題も山積しており、その解決に議員一同精進努力をしてまいりますので、今後ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成29年度

羽幌町一般会計ほか、特別会計、水道事業会計の決算を審査

すべての会計決算を認定

会計名	歳入（収入）	歳出（支出）	差引
一般会計	69億2459万円	68億8965万円	3493万円
特別会計			
国民健康保険	10億7888万円	10億4358万円	3530万円
後期高齢者医療保険	1億2020万円	1億2007万円	13万円
介護保険事業	10億4334万円	9億7907万円	6426万円
下水道事業	4億6512万円	4億6504万円	7万円
簡易水道事業	3867万円	3855万円	11万円
港湾上屋事業	1593万円	1593万円	0円
水道事業会計（消費税差し引き後の額）			
収益的収入及び支出	2億2409万円	1億5957万円	6451万円※1
資本的収入及び支出	0円	8223万円	-8223万円※2

平成29年度各会計決算は、全議員での構成による決算特別委員会（寺沢孝毅委員長）に付託、審査され、「認定すべき」と決定。その後の本会議で、すべての会計決算は認定されました。

※1 単年度の企業経営成績を明らかにする損益計算の結果の純利益。
 ※2 収入がないことから、減債積立金や損益勘定留保資金等で補填。

※表示単位未満の数値を切り捨てにしているため、数値が一致しない場合があります。

船本 秀雄 議員



問 町道に係る「歩道」の整備は

答 老朽化の著しい箇所から順次整備を行う

町道に係る

「歩道」の整備

問 7月24日に開催した「町外からの転入者」と議会との意見交換会での事前アンケートで、歩道の段差、舗装の劣化で歩きにくい。ベビーカーを押して歩く際に足がとられる。歩道が歩きにくいため、車道を歩行するなど意見があった。非常に危険な場所もあり、「歩道」の整備が急務である。

答 毎年、雪解け後の4月を重点的に点検し、傷んでいる箇所を修理してい



補修が必要と思われる歩道

る。今後も道路管理業務および職員によるパトロールを行い、老朽化の著しい箇所や住民からの要望等を整理しながら、順次整備を行い、歩行に支障のない歩道整備を進める。

問 既に車庫や駐車場を廃止しているにもかかわらず、そのまま切り下げ（段差）されている箇所があるが。

答 歩道を整備する中で、地権者と協議した上で元通りに整備していく。

民間住宅・建築物の

耐震促進計画

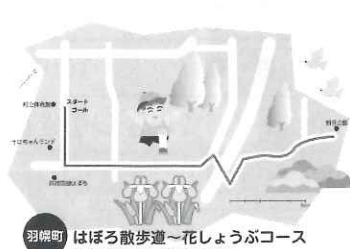
問 国は平成26年建築物の耐震改修促進に関する法律が制定されたことに伴い、本町でも平成28年度から32年度までの5カ年計画を策定した。

計画最終年の32年度、

町内の住宅・建築物の耐震化目標を95%に設定している。強い地震や津波で家屋の倒壊等大きな被害、さらに死傷者も出ている状況から、大地震は全国どこでも起こりうるといわれている。

住宅・建築物の耐震は喫緊の課題であることから、目標達成に向けて耐震化の必要性についての意識啓発、耐震改修に対する支援制度の周知や耐震化情報の提供はどのような方法で取り組んでいるか。

答 町ホームページや広報はほろに掲載し周知を図っている。国等の支援策については、それぞれの機関が周知しており、町の広報媒体を利用した周知は特段実施していない。



羽幌町すこやかロード

い。今後は、町民の皆様に耐震化への理解を深めてもらえるよう、内容を工夫し取り組んでいく。

羽幌町すこやか

ロードの利用促進

問 健康を維持し増進することは、ウォーキングが最適だといわれており、特段の道具も設備も不要で、必要なのは歩こうという意志と、一足のシューズだけである。本町では北海道と北海道健康づくり財団が認定した羽幌町

すこやかロード「バラコース」1800mと「花しょうぶコース」3600mの2つのコースがあるが、多くの方は知らないでいると伺った。以前のように、コースのマップを住民に配布し、多くの住民が安全なコースでウォーキングを楽しめる場を周知してはどうか。

答 今後については町民の自主性を尊重しつつ、さらに健康維持・増進につながるようウォーキングの啓発に努める。

平山美知子 議員



問 略式代執行による除却の検討は

答 具体的な検討はまだ行っていない

旧宮坂ビルの対応

問 今年6月議会において補助制度については、5月22日留萌振興局から「略式代執行による除却」という手法がとれそうだと情報提供があり、検討する必要があると考えているとの答弁があった。その後、検討は行ったのか。

答 すぐに倒壊するという状態にはなっていないことから、具体的な検討はまだ行っていない。

問 民間の建物であるか

ら積極的に取り組んでいないのか。

答 危険だとか町民の要望も承知している。町として責任の所在、権利のない建物である。

問 倒壊する状態になっていない、判断基準は。

答 判断基準はない。

問 今後、検討の考えは。

答 今までとおりと理解してほしい。いい情報ということだが大変な条件等があり、それをするこことによって他にも波及するという問題も多く言ん



旧宮坂ビル

でいるということを理解してほしい。

問 事故が起きた時の責任については「事故がまだ起きていない仮定の段階で答弁できかねる」と答えていた。その考えに変わりはないのか。

答 町長という、羽幌町の執行権者である立場では、同じような答弁しかできない。

問 万一事故が起きた時の対応は町として関わらないという受け止めではないのか。

答 事故に遭わないようにこの回路、遠回りをしていただきたいと申し上げておきたい。

羽幌中学校

トイレの洋式化

問 羽幌小学校では、前年度新校舎となり、洋式便器が多く設置されているなか、羽幌中学校については、和式便器が圧倒的に多い現状である。子供たちが、快適な環境で学校生活を送ることができるようにも、トイレの



羽幌中学校

洋式化を図ることが必要不可欠ではないか。

答 洋式トイレの必要性については、学校での使用状況等を確認した上で、緊急度等も考慮しながら判断していきたい。

問 3月の各会計予算特別委員会の中で担当課としても洋式便器は足りないと思っている。公共施設マネジメント計画では中学校建替え予定まで15年以上あるので、和式便器を全て洋式化にしてほしいとは思わない

が、何個かでもいい。それについての考えは。

答 必要性は認識している。緊急性についてはまだ検討中ということでもあり、中学校の人数が少ないという部分があるので他との部分の緊急性ということを考慮している。

問 数を増やす方向で来年度予算を付けてほしい。

答 この場で確約はできないが、他の予算も含めて検討したい。

寺沢 孝毅 議員



問 天売複合化施設、約束通り実施を

答 先送り、独断と言われてもしょうがない

天売複合化施設建設事業

問 天売高等学校、天売ちびっこランドなどを一体化させた、天売複合化施設の基本設計委託料、1289万円が、3月議会で議決された。ところが8月29日、天売地区町政懇談会で町長は先送りを発表した。天売島の各施設は老朽化が著しく、議決は事業実施の約束であり、肅々と実施してほしい。

答 焼尻小中学校の耐震化に関して、公立学校の耐震化未完了自治体を、

交付金対象から除外を検討すると通知があり、総合的な検討が必要と判断した。予算議決は、事業実施を約束する一面を持つが、本事業の先送りを決断した。

問 役場内の各会議、議会常任委員会、予算の議決を経てきた過程は重い。判断が覆ったプロセスは。

答 平成30年度の、羽小グランドと教員住宅の整備に交付金がつかなかったのは、焼尻小中学校の耐震化が済んでいないからと推測する。それを考

えるには予算が必要で、天売島に辺地債・過疎債を使うとその枠を消化してしまふ。31年は全く難しくなるということ。役場内の会議は開かず、教育長、担当課長と協議した。独断と言われてもしょうがない。

問 決定プロセスが非常にまずい。焼尻小中学校の耐震化が済んでいないから交付金がつかなかったのか。天売高校を含む町内の公立学校すべての耐震化が終わらなければ、交付金をつかない可能性がある。この点についてどうか。

答 議員の言う通りだが、義務教育を優先したいという考えが根本にある。**問** その議論は、計画の時に終わっている。

答 高校施設は、文科省の施策に入っていない。

問 焼尻小中学校の耐震化にはまだ時間がかかる。場所も決まっていない。

この手続きは、町内公立学校の耐震化を遅らせる施策。文科省の方針と逆行するのではないか。

答 焼尻が先というわけではないが、そのことを念頭に置かなければならず、いま、天売島の復活の考えはない。

意見 何のための耐震化か。交付金のためではない。財政が厳しいと口癖のように町長は言うが、交付金のために命を守ることを遅らせてはならない。

インバウンド対策

問 観光振興は、交流人口を増やす鍵であり、地域の経済活動を活性化させる上で重要とされる。羽幌町観光の大きな柱としてインバウンド対策を進めるべきではないか。

答 旅行者および観光事業者のニーズを捉え、観光関連サイン等への外国語表示をはじめ事業者へのクレジットカード決済の導入など、旅行しやすい環境づくりに努めたい。



天売高等学校



天売ちびっこランド

金木直文 議員



問 さらなる水害防止対策は

答 専門的見地からの災害予測も重要

水害に強いまちづくり

問 浸水想定地域に指定する基準など、どこがどう判断するのか。

答 洪水浸水想定区域は洪水予報河川、水位周知河川の指定を河川管理者である国、都道府県が行い、国の定める基準により設定された想定最大規模降雨により氾濫した場合に、浸水が想定される区域を河川管理者が指定する。雨水出水浸水想定区域は、公共下水道等の排水施設で、想定最大規模降雨により雨水を排除できなくなった場合や、施設から河川や公共の水域に排除できなくなった場合に浸水が想定される区域を、施設を管理する都道府県、市町村が指定する。

問 羽幌川や福寿川、築別川などの堤防の治水能力は。

答 河川の整備では流下能力を算定して河川の計画断面を検討するが、羽幌川と福寿川は50年確率、築別川は86年確率による

算式を用いて計画断面を決定し、改修工事を終えている。

問 道路の冠水は災害にはならないのか。

答 人的被害や物的被害がない場合は災害の位置付けとはならず、道への被害報告の対象にもなっていない。

問 浸水や冠水を防ぐための施設整備、道路や側溝の雨水管の流量能力も加味したハザードマップの検討など、さらなる水害防止対策は。

答 道路側溝の清掃を年



道管理の羽幌川水位観測所（中央地区）

度ごと計画的に実施し、南6条通りの管渠布設工事が完成したら、これまでの降雨実績から想定される降雨量については、対処できると考えている。

ただし、想定を超える災害が各地で発生していることを踏まえると、降雨量をはじめ、専門的見地からの災害予測が重要であり、国や道からの助言を仰ぎながら、どういった取り組みが必要かを検討していく。

中央公民館建替事業

問 中央公民館建替事業が遅れているが、進捗状況はどうなのか。他の教育関連施設建替事業への影響は。

答 平成28年度に建替えるに向け広く意見を聴くため公民館利用者やサークル団体、図書室利用者などを対象にアンケート調査を実施。この意見を基に素案をまとめ、今年度、検討委員会を組織して具体的な検討に入る段階であった。しかし、建築基準法に規定されている日



羽幌町中央公民館（旧児童会館）

影規制に抵触していることにより、新たな建物を既存施設に接続するのが困難であることが判明したことから、今後の方向性を決めるうえで時間を要している状況である。

他の事業への影響については、財源や事業者の確保など、極力他の事業への影響がないよう関係各課と協議し、計画的に進めていきたい。

問 日影規制、どう解決するのか。

答 道にも相談しており、方策を探っている。

総務産業常任委員会

努力するも寄付額増えず

(7月25日開催)

◆まちづくり応援寄付金の状況と活用

平成20年度から29年度までの寄付件数7256件、金額1億5278万8912円。活用実績72事業で1億3712万5000円。また、ふるさと納税に係る取組状況や平成27年度から始まった返礼品の登録商品等の説明を受けた。

《主な質疑》

【質問】寄付金の額に対して、返礼品等にかかる経費はどのくらいになるのか。

【回答】平成30年度は返礼品と送料で半分程度、インターネット系のランニングコスト、PR経費、嘱託職員の人件費等で6割から7割が経費としてかかっている。

【質問】平成27年から返礼品を始めて7022万円、期待したが翌年度から半分程度になった原因は。



指定管理から直営へ検討

(9月14日開催)

◆焼尻めん羊事業の現状と方向性

焼尻めん羊牧場の現有施設の状況、位置づけ、経営(収支)状況、経営基盤の強化(課題と対策)、町としてこれからの方向性の考え方(指定管理者制度から直営へ)等説明を受けた。

《主な質疑》

【質問】指定管理者制度から、直営に戻したいという理由は。

【回答】町民還元用や焼尻めん羊まつり、ふるさと納税の返礼品等羊肉の確保が難しい。また、指定管理者は単年度収支を赤字にすることができないため、残すべき母親用羊ままで売却している現状。指定管理者制度のままでは維持できないと判断した。

【質問】指定管理者との協議は行ったのか。

【回答】協議をした中で理解してもらっている。

【質問】指定管理者が苦慮した問題が労働力不足、直営にした場合労働力の確保は。



【回答】地域おこし協力隊や、酪農学園大学のインターンシップ生受け入れ、繁忙期の学生受け入れ、卒業生の就業者育成。また、現在従事している2名は現指定管理者との委託契約で残ってもらえることになっている。

【質問】非常に重たい案件であり、町民も大いに関心を持っているので、早々に結論は出せるものではない。結論が出るまで現指定管理者の方で管理してくれるのか。



北竜町での視察・調査

道内行政視察報告

7月23日に北竜町にて、ふるさと納税、インバウンド対策に関する取り組み、北竜町商業活性化施設整備事業、高齢者等交通弱者対策等について、両常任委員会合同で視察・調査を行いました。

お米の返礼品8割
リピート率5割
ふるさと納税額
3億8000万円 (H29年度)

北竜町のふるさと納税では返礼品の8割が「お米」を希望されている。30kgの場合は分割発送を行うなど、きめ細やかな対応を行っている。ふるさと納税を子育て支援の「保育料・学校給食無料化」「修学旅行経費」「医療費の助成」等に活用している。

文教厚生常任委員会

新武道館の設計案提示される

(7月13日開催)

◆武道館設計案

前回提出された案の修正および天井の高さと工事費の違う2パターンが提示され、町としては天井高さ5mで設定したいとの説明を受けた。

●設計案

- ・構造…鉄骨造 平屋建
- ・面積…713・22㎡
- ・水飲み場の設置
- ・暖房…武道館↓遠赤外線暖房機・多目的室↓FF式真空パネル暖房器



建設予定の武道館の外観イメージ

●概算工事費

①天井高さ5m

概算工事費3億2385万円

主な使用競技

- ・剣道、柔道、空手、ダンス、ヨガ・ストレッチ教室、講座、公演、研修会

②天井高さ7m

概算工事費3億3665万円

主な使用競技

- ・ミニバレー、バドミントン、バレーボール、バスケットボール等も使用可能

●一時的な使用

・なぎなた、卓球、ミニバレー

●総合体育館で大会等開催時

・アップトレーニング・控室

●今後のスケジュール

- ・工事費補正予算提出(9月定例議会)
- ・JV公募
- ・入札、仮契約(10月中旬)
- ・契約締結(10月下旬)
- ・完成予定(平成31年11月)

《主な質疑》

【質問】体育館に併設されるが管理はどこがするのか。

【回答】武道館も一体的管理ということで、総合体育館を指定管理している体育協会にお願いする方向で今話を進めている。今後具体的な協議は早いうちから進めていきたい。

【質問】外構工事がこの武道館に附帯してあるとの説明がなかったが。

【回答】外構工事は、まだ具体的な協議が進んでいない。総合体育館の大規模改修も予定されているが、その改修工事の内容等の中で総合体育館を含めた外構や整備がある程度見えてくる。



建設予定の武道館の内観イメージ

支援の充実を

(8月31日開催)

◆子育て支援

健康支援課が行っている子育て支援の主な事業や29年度決算額、30年度の予算額について説明を受けた。

・定期予防接種

ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、BCG、麻疹風しん混合、水痘、二種混合、日本脳炎、子宮頸がん

・任意予防接種費用助成事業

定期予防接種以外のロタ、おたふくかぜ、インフルエンザに関わる費用の助成。

・子ども発達支援事業

児童発達支援(就学前の幼児26名利用)、放課後等デイサービス(就学児で小学生まで44名利用)の運営 ※利用者数は3町村合計。予算は利用者負担金と町村分担金含む。

・妊産婦安心出産支援事業

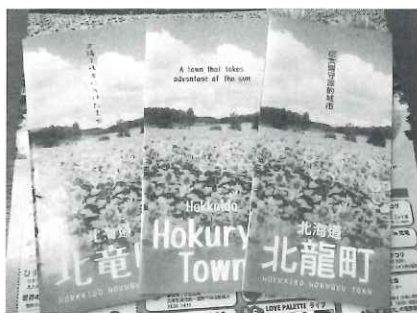
妊産婦健康診査と出産に係る交通費・宿泊費の一部を助成。里帰り出産を除く。

予算額…2266万円

予算額…115万円

日本語・英語・中国語・韓国語のパンフレット
英語での観光案内実施

近年、外国人観光客が増加しており、さまざまな対応を行っている。特に増加傾向である台湾人観光客向けにパンフレットを作製した。旅行会社からのアドバイスもあつたが、地元で英語を話せる人材が少ないことが大きな要因である。通過型から滞在型にしていきたいとのことであつた。



北竜町の観光パンフレット

羽幌町でもインバウンド(訪日外国人観光客)対策やふるさと納税を積極的に取り組むように議会でも活動していかなくてはならない。

特集

羽幌町議会との 意見交換会

町外から 転入してこられた方

平成30年7月24日
中央公民館 研修室
参加者：19名

羽幌町へ転入してこられた皆さんから、ご意見・ご要望を伺いました。参加していただき、ありがとうございました。



たくさんの貴重なご意見をいただきました

参加者からの

主な意見・要望

◇羽幌町の魅力

- ・ 甘エビ等の海産物がおいしい。
- ・ 天売、焼尻はすごい財産だと思う。あんなに魅力的なところは無い。
- ・ 米がうまい。その米作りが、たくて羽幌にお世話になっている。
- ・ 子供たちが礼儀正しい。

◇羽幌町の住宅事情

- ・ 転入してくる人向けの住宅情報が少ないし、不動産業者も無い。仲介業者があれば転入者も困らないのでは。
- ・ 教員住宅を含めてだが住宅事情は良くない。管内をいろいろと見てきたが羽幌はかなりの悪い。
- ・ 若い先生たちが新しい住宅に入りたいとの意見を聞いている。

◇地域資源・イベント

- ・ 離島の夕日などがきれい。
- ・ 誰でも参加できる写真コンテストや、誰でもインターネット

ト上に写真をアップしてもらえない取り組みをしてはどうか。少ない経費で大きなPR効果があるのでは。

- ・ 甘エビまつりという名称にこだわらず、その他の特産品もPRできるように名称を変えてみては。
- ・ 居酒屋に行っても地場産の料理が無い。

◇道の駅・観光情報

- ・ 羽幌の特産品が全て食べられて買うことができれば、道の駅として認識されるのではないか。
- ・ 小さな商業施設の整備から初めてみてはどうか。
- ・ 観光客もあまり新しい建物にこだわっていないと思う。
- ・ 工夫があるから人気があるのであって、地元の思いを注ぐことに力を入れるべき。
- ・ 地元の情報発信をすることも基本的な道の駅の機能だ。
- ・ 主要な都市、空港等からの時間や行程、旅行プラン等もホームページで案内してみてはどうか。

◇人口減少対策

- ・ 将来、羽幌に就職で戻って

こられる環境になればいいと思うている。もっと働く場所が増えれば状況は変わるのではないかと。

- ・ 一度町外に出たとしても、羽幌に生活の糧があれば残りたいと思う子が多いと感じている。

◇水道料金

- ・ 他の町の倍、高すぎる。

◇安心・安全

- ・ 宮坂デパートは歩道にロープが張ってあり車道を歩くしかなく、まともな状況ではない。

◆これ以外にも多くの意見・要望を伺いました。

参加者の感想

- ・ 次は議員の方の思いを聞いてみたい。
- ・ また意見交換会があれば参加したい。
- ・ 今回出た意見・要望が議員の方々に届いていれば嬉しい。

今回の意見・要望を、町への政策提案など今後の議会活動に活かしたいと思えます。